

## 行事報告書(研修)

報告者：関根 千鶴 華崎 律子

行事名	自然観察会																									
実施日時	2018年5月10日(木) 10時～14時 天候: 晴																									
場 所	昆陽池公園																									
テーマ	野鳥観察																									
講師	黒田捷洋さんおよび甲山探鳥会のメンバー																									
参加者数	43名																									
内容(概要)	<p>5月にしては肌寒いお天気の中、昆陽池公園の草生地広場に集合した。飯盛さんから、武庫ネイチャークラブとしては、久しぶりの野鳥観察会であることが告げられ、1日のスケジュールの発表、講師陣の紹介があった。</p> <p>講師の黒田さんから「今の時期、夏鳥は移動してしまって、留鳥も子育て中のためあまり鳴かないので、野鳥観察は難しい。みんなでがんばりましょう。」と挨拶があった。</p> <p>観察は2班に分かれて行い、甲山探鳥会のメンバーがそれぞれサポートについてくださった。A班は昆陽池を時計回り、B班は反時計回りにスタートした。</p> <p>A班：黒田捷洋さんをリーダーとして、今西さん、山田(逸)さん、松生さん、沼田さん B班：青山征二さんをリーダーとして、大地(祥)さん、日笠さん、吉田さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・池中央の島にカワウのコロニーがあり、幼鳥と思われる鳴き声がにぎやかだった。</li> <li>・スズメが「チッチョ、チッチョ…」と等間隔で鳴くのは、さえずりだと教えていただいた。最も身近な鳥なのに、さえずりを意識したことはなかった。</li> <li>・白いサギの見分け方を教わった。ダイサギは嘴のつけねの黄色い部分が目の下より後ろまでのびるが、チュウサギでは短い。また、コサギの足指は年中黄色なので見分けがつくという。</li> <li>・頭から首、背中が明るい茶色のアマサギが6羽観察できた。茶色の部分に個体差があり、別種のように見えるものもいた。</li> <li>・ふるさと小径では、枯れかけた木にコゲラの巣穴があり、近くでコゲラが盛んに鳴いていた。また、青山さんが下見のときに撮影されたコゲラ親子の映像を見せてくださった。</li> <li>・東から公園に入ったところで、とても美しいアカガシラサギに出会うことができた。頭から首は紫がかかった茶色、背中が濃い青灰色。翼は白だ。スコープを使って全員が充分楽しめたと思う。</li> </ul> <p>観察終了後、鳥合わせをして、23種を観察できたことを確認した。</p> <p>黒田さんから、大勢の目で探したので多くの鳥に出会えたこと、今日のハイライトは非常に珍しいアカガシラサギであるとまとめがあった。また、昆陽池で活動されている探鳥グループが紹介された。</p> <p>&lt;本日観察した鳥&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>スズメ</td> <td>コゲラ</td> <td>ハシボソガラス</td> <td>ヒドリガモ</td> <td>ダイサギ</td> </tr> <tr> <td>シジュウカラ</td> <td>ムクドリ</td> <td>ハシブトガラス</td> <td>カルガモ</td> <td>アオサギ</td> </tr> <tr> <td>メジロ</td> <td>ヒヨドリ</td> <td>トビ</td> <td>キンクロハジロ</td> <td>アカガシラサギ</td> </tr> <tr> <td>ウグイス</td> <td>ツグミ</td> <td>キビタキ</td> <td>アマサギ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ツバメ</td> <td>キジバト</td> <td>カワウ</td> <td>チュウサギ</td> <td></td> </tr> </table> <p>草生地広場で昼食後、飯盛さんが「伊丹学」と称してクイズ形式で伊丹の歴史や地形を学ぶ機会を設けてくださった。さらに「日米友好のサクラとハナミズキ」の話聞いた。日本から贈られたサクラや返礼としてのハナミズキの話は有名だが、伊丹に縁があるとは知らず興味深かった。</p>	スズメ	コゲラ	ハシボソガラス	ヒドリガモ	ダイサギ	シジュウカラ	ムクドリ	ハシブトガラス	カルガモ	アオサギ	メジロ	ヒヨドリ	トビ	キンクロハジロ	アカガシラサギ	ウグイス	ツグミ	キビタキ	アマサギ		ツバメ	キジバト	カワウ	チュウサギ	
スズメ	コゲラ	ハシボソガラス	ヒドリガモ	ダイサギ																						
シジュウカラ	ムクドリ	ハシブトガラス	カルガモ	アオサギ																						
メジロ	ヒヨドリ	トビ	キンクロハジロ	アカガシラサギ																						
ウグイス	ツグミ	キビタキ	アマサギ																							
ツバメ	キジバト	カワウ	チュウサギ																							

◎ 写真はリーダー青山さんと華崎さんの撮影です。 青山さん、ありがとうございました。



最初にリーダーより説明を受ける



アオサギ



チュウサギ



ダイサギ



メジロ



キジバト



キンクロハジロ 雄



キンクロハジロ 雌





アカガシラサギ



アマサギ



鳥合わせ



午後、芝生で「伊丹学」